# 稲城野草散策の会

野草スケッチ　エビネ（ラン科）

1996/05/21　　稲城市百村　　絵と文　Ｔａ

最近の野草乱獲は目に余るものがある。
特にランの仲間はひどい目にあっている。

今年、稲城野草散策の会では５月に恒例の「三沢川下り」を行った。

---

会報第６５号　２０１０年5月９日発行　発行責任者　尼子　房夫

どこかの「〇〇川下り」とは違って、舟に乗るわけではなく、川に沿って歩きながら植物を観察するのである。
本番に先立ってGWの初日に、有志で予定コースをのんびりと歩いた。
観光地へ行くばかりがGWのすごしかたではないと思う。
多摩丘陵にとっても、たくさんの花が見られるゴールデンウイークなのだ。

ＳＴＡＲＴの京王線若葉台駅から程近い雑木林の中にキンランが咲いていた。
以前にもここで見かけたことがあり、もしかしてと期待していた通りの出現に、一同大いに喜んだことは言うまでもない。
ところが、４日後の本番で参加者を案内して行ってみると、キンランが跡形もなく消えているではないか。
いや、跡形はあった。
ざっくりと掘られた生々しい痕跡だ。

参加者には掘り痕を見せ、ここにキンランがあったことを説明した後、「こういうことをするのを、『ドロボウ園芸』といいます」という注釈をつけた。
「ドロボウですか・・・」
「山から盗んだもので庭を飾っても、それはドロボウ園芸です。いくらきれいな花を咲かせたとしても、心の貧しさは覆い隠せないでしょう」
ちょっときつい言い方だったかもしれないが、それが盗掘に対する私の考えである。
白状すれば、私もかつて盗掘をしたことがある。
植物を知らず、自然を知らず、自分の花をだれかれなく自慢したがる、今から思えば寒いくらいに心貧しいころだった。

このエビネは稲城市の南山（みなみやま）でスケッチしたものである。
篠竹の薮へ偶然入り込んで、かなり奥まで進んだとき、花をつけているエビネを見つけた。
４株もかたまって咲いている。
人家に近い林の中にエビネが残っていたなんて、これはもう奇跡に近い。
さっそく座り込んでスケッチ開始だ。
もちろん、咲いている状態のままを描く。
５時間ほど、そうやってスケッチしていた。

翌週、気になったので同じ場所へ行ってみた。

最初は場所を間違えたかと思った。
無いのである。４株とも根こそぎ消えていた。
掘り跡が残っている。無残。
枯れ枝や木の葉で隠しておけばよかったと思ったが、後の祭りだ。

あるとき、某国営放送のローカルニュースで、こんなことを言っていた。
「いま、〇〇村では山野草の展示会が開かれています。この山野草は村の愛好家の皆さんが山取りした株を丹精こめて育てたもので、みごとな花を咲かせています」
いやしくも報道にたずさわる人間が、こんな程度の認識でよいものだろうか。
山取りを是とするような報道が視聴者にどういう影響を与えるか、くらいは考えてもらいたいものである。

盗掘問題はいくら書いても愚痴になるだけだ。
どうすればよいのだろう。
自然を愛する豊かな心を持ってもらいたいと思って観察会を続けてはいるのだが・・・
「百年河清を待つ」ような努力に過ぎないのであろうか。
ん・・・これも愚痴か・・・（２０００年５月記）

＊　＊　＊　＊　＊

## 〔観察記録〕４月９日　三沢川下り

春ですね。お天気も好く、桜も満開。朝、バスで通った府中試験場、野川公園周辺の桜がきれいでした。
春の花が沢山見られました。ヤマルリソウやニリンソウ、フラサバソウ、アマナなどが群生していました。ヤマルリソウは白っぽい花から青い花、その中にピンクっぽい花が混じっていました。高勝寺のそばの石垣の隙間からもヤマルリソウの花が咲いていて、こんなところにも咲いていると思いました。結構歩きましたが、楽しい観察会でした。（FAM）

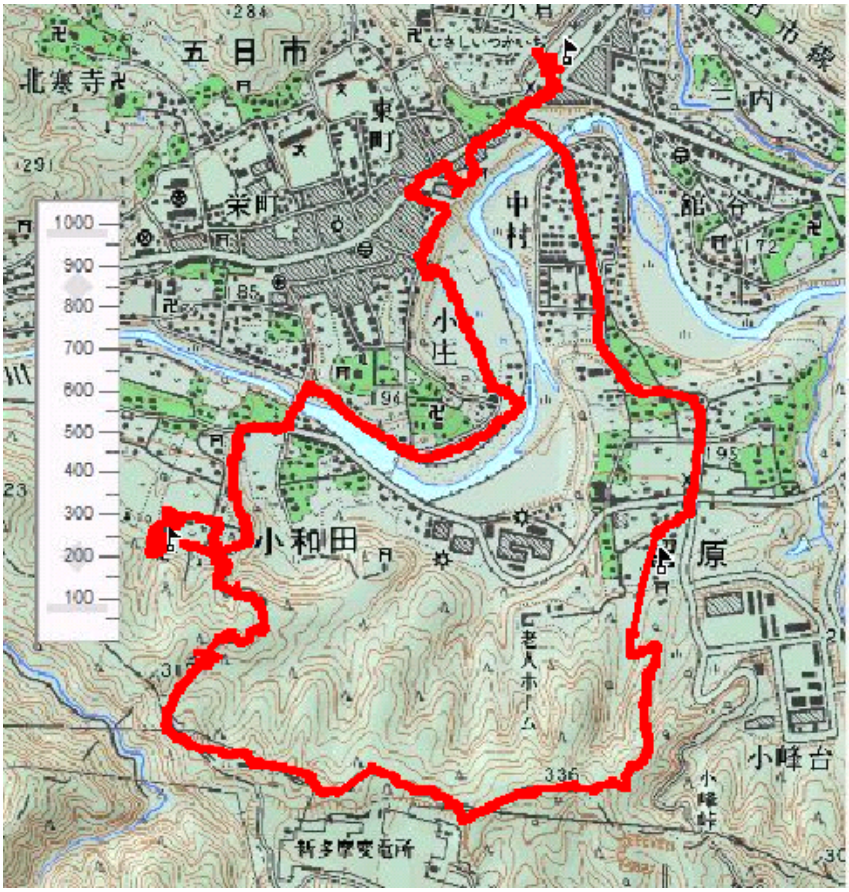
▼観察記録（番号順）
(01)スギナ、(02)オランダミミナグサ(花)、(03)ヒメオドリコソウ(花)、(04)ミチタネツケバナ(花)、(05)カラスノエンドウ(花)、(06)ホトケノザ(花)、(07)セイタカアワダチソウ、(08)イチリンソウ、(09)カキドオシ(花)、(10)タチツボスミレ(花)、(11)ガマズミ、(12)ハリギリ、(13)ウグイスカグラ(花)、(14)タマノカ

ンアオイ、(15)サワフタギ、(16)クマシデ、(17)ヤマザクラ(花)、(18)エゴノキ、(19)マユミ、(20)ツリバナ、(21)ショカツサイ(花)、(22)カジイチゴ(花)、(23)ノイバラ(花)、(24)オカウコギ、(25)(26)(27)コクサギ、(28)アマナ(花)、(29)セイヨウタンポポ(花)、(30)オオイヌノフグリ(花)、(31)ケキツネノボタン(花)、(32)コオニタビラコ(花)、(33)ゲンゲ(花)、(34)ハナイバナ(花)、(35)キュウリグサ(花)、(36)クサボケ(花)、(37)ムラサキサギゴケ(花)、(38)ヤマトリカブト、(39)アブラチャン(花)、(40)モミジイチゴ(花)、(41)スズメノヤリ(花)、(42)チョウセンレンギョウ(花)、(43)スモモ(花)、(44)キブシ(花)、(45)スイカズラ、(46)クマヤナギ、(47)ヒメリュウキンカ(花・園芸)、(48)サルナシ、(49)クロモジ(花)、(50)イヌザクラ(蕾)、(51)ミズキ、(52)キランソウ(花)、(53)カントウタンポポ(花)、(54)ホラシノブ、(55)ベニシダ、(56)アカネスミレ(花)、(57)ヤブコウジ(実)、(58)シュンラン(花)、(59)ジュウニヒトエ(花)、(60)ツルグミ、(61)キヅタ、(62)ムクノキ、(63)ニワトコ(花)、(64)アケビ(花)、(65)ミツバアケビ(花)、(66)ナルコユリ、(67)ミヤマナルコユリ、(68)ミツバツチグリ(花)、(69)ヤマツツジ、(70)ツルニンジン、(71)ヤマルリソウ(花)、(72)ナガバノスミレサイシン(花)、(73)イチヤクソウ(蕾)、(74)ニオイタチツボスミレ(花)、(75)ホウチャクソウ、(76)アオイスミレ、(77)ヤマユリ、(78)アカショウマ、(79)ヤマヤブソテツ、(80)リョウメンシダ、(81)フモトシダ、(82)サラシナショウマ、(83)イヌショウマ、(84)ゼンマイ、(85)ツタウルシ、(86)モモイロキランソウ(花)、(87)カワヅザクラ、(88)サルトリイバラ(花)、(89)ヒサカキ(花)、(90)カリン(花)、(91)ノジスミレ(花)、(92)ブタナ、(93)ノカンゾウ、(94)フデリンドウ(花)、(95)オオバベニガシワ（オオバアカメガシワ)、(96)ジロボウエンゴサク(花)、(97)ヒマラヤユキノシタ(花)、(98)ヒゴスミレ(花)、(99)アリアケスミレ(花)、(100)クサイチゴ(花)、(101)フラサバソウ(花)、(102)イモカタバミ(花)、(103)クサノオウ(花)、(104)キツネノカミソリ、(105)ムラサキケマン(花)、(106)イヌシデ、(107)ニリンソウ、(108)ウラシマソウ、(109)ヤマイタチシダ、(110)スズメノエンドウ(花)、(111)ヤブニンジン、(112)コブシ(花)、(113)オニタビラコ(花)、(114)ユリワサビ(花)、(115)ヨウコウ(花)、(116)セトガヤ、(117)キツネアザミ(蕾)、(118)カラタチ(蕾)、(119)ヤドリギ

▼ヒサカキの花

ヒサカキの花が咲いていました。よく見るとかわいい花なのですが、匂いがねという方が多いようです。ポピュラーなのが、沢庵の匂い、都市ガスの匂いですが、面白いのがありました。インスタント塩ラーメンの粉末スープの匂いというのですが、同感されますか？(FAM)

〔行事予定〕2010/5/9（日）　小峰公園

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| 集　合 | ａｍ１０時、ＪＲ五日市線武蔵五日市駅　改札口付近　※会旗目標<br>ＪＲ五日市線武蔵五日市駅の改札口は一個所だけです |
| 交　通 | ＪＲ五日市線の終点です<br>ＪＲ立川駅９：１０→武蔵五日市駅９：４０が便利です |
| 行く先<br>(解散場所) | ＪＲ五日市線武蔵五日市駅から小峰公園へ<br>武蔵五日市駅　ｐｍ4時頃解散予定 |
| 見所<br>その他 | ヤマブキソウ |
| 地　図 |  |
| コース | 武蔵五日市駅前～小庄～小和田～広徳寺（昼食）～新多摩変電所裏～小峰公園～留原～中村～武蔵五日市駅（解散） |

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

# 〔行事予定〕2010/6/5（土）　芦ヶ久保

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| 集　合 | ａｍ１０時１０分　西武池袋線・芦ヶ久保駅　改札口付近<br>※会旗目標<br>改札口は一箇所です |
| 交　通 | 快速急行に乗り芦ヶ久保駅下車（池袋から直通あり）<br>池袋08:35→所沢08:58→飯能09:20→東飯能09:22→芦ヶ久保 10:01 が便利 |
| 行く先<br>（解散場所） | 芦ヶ久保・日向山<br>西武池袋線芦ヶ久保駅　ｐｍ３時半頃解散予定 |
| 地図 | |
| コース | 芦ヶ久保駅～フルーツガーデン駐車場～農村公園入口～山の花道駐車場（昼食）～日向山～琴平神社～白髭神社～芦ヶ久保駅（１５：３０頃）行程：約５ｋｍ。標高差（駅～日向山）：約３３０ｍ |
| 見所<br>その他 | 樹木ではヤブデマリ、ツクバネ、ツクバネウツギ、ウラジロノキ、ツツジ類など。<br>草本では、う～ん、フタリシズカ、ミヤマナルコユリ、ミヤマエンレイソウあたりでしょうか。 |

※ 小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円